

「死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム 90」の 賛同人になってください

●地球が決めた死刑廃止

1989年12月、国連総会において「市民的及び政治的権利に関する国際規約の第二選択議定書（死刑廃止国際条約）」が採択され、1991年7月に発効しました。しかし日本政府はこの条約の採択に反対し、いまだに批准していません。

●フォーラム 90 の発足から現在まで

私たちは、日本でも死刑が廃止されることを願い、1990年12月、92年3月に思いを同じくする人々が一堂に会する「死刑廃止フォーラム」、93年7月にはアジアの死刑廃止運動体が集う「アジア・フォーラム」、2010年12月にはフォーラム発足20年記念集会を日比谷公会堂で開催しました。2005年からは10月10日の世界死刑廃止デーに合わせて、毎年さまざまな催しや街頭パレードを行ってきました。

●世界はいま、死刑廃止へ

死刑廃止国際条約の発効後、世界は着実に死刑廃止に向かっていきます。2013年末の時点で死刑廃止国は140カ国、死刑存置国は58カ国となり、死刑を廃止した国々は70%にのびります。いわゆる先進国で死刑を存置しているのは、日本とアメリカの一部の州のみです

国連総会では、2007年、2008年、2010年、2012年各12月に、死刑存置国に対して死刑執行の停止を求める決議を圧倒的多数で採択しています。

また2014年7月には、国連自由権規約委員会、第6回日本政府報告書審査が行われ、日本政府は死刑制度の廃止に向けた過去5回にわたる勧告をほとんど実施していないとして、厳しい批判がなされました。

●日本の現状

日本では、殺人などのいわゆる凶悪事件は減少しているにもかかわらず、2000年代に入ると死刑判決は増加しました。安倍第1次政権の2006年12月

からは死刑執行命令が濫発され、先月までの7年8カ月間に55名もの生命が奪われました。このなかには、一貫して無実を訴えつづけていた方のほか、車椅子生活の高齢者や、自ら上訴を取り下げて確定した方々、一審判決は無期懲役だった方々も数多く含まれています。

現在、日本には130名の死刑確定者がいます。自らの犯した罪に向き合い苦しみながらも償いの方途を探す人もいれば、袴田巖さんのように、冤罪を晴らそうと再審請求をつづける人も少なくありません。死刑が執行されてしまえば、まさに取り返しがつかないのです。

また裁判員制度によって、市民が否応なしに死刑判決に加担させられる時代になった今こそ、私たちは死刑制度を廃止したいと願わざるを得ません。一人でも多くの方に、賛同人として、死刑廃止の実現に向けてともに歩んでいただけますようお願い申し上げます。

なお、フォーラム 90 の活動は、会費制ではなく1口814（はいし）円以上のカンパでまかっています。賛同人のみなさまには、年に5、6回「FORUM90 ニュース」をお送りして、最新情報をお届けいたします。
(2016年9月10日)

〈呼びかけ人〉

故岡藤重光（元最高裁判事）、故土屋公献（元日弁連会長）、免田栄（元冤罪死刑囚）、イーデスハンソン（アムネスティインターナショナル日本特別顧問）、故奥平康弘（憲法学者）、加賀乙彦（作家）、瀬戸内寂聴（作家）

死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム 90

〒107-0052 港区赤坂2-14-13 港合同法律事務所気付
Tel 03-3585-2331 Fax 03-3585-2330

郵便振替口座：00180-1-80456 加入者名：フォーラム 90

ホームページ <http://www.forum90.net/>

メールアドレス info@forum90.net

死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム 90 の賛同人になります。

ご住所（ニュース送付先）：〒

お名前：

電話 or メールアドレス等連絡先：